

池田市上下水道事業経営戦略

を策定しました（平成30年度～平成39年度）

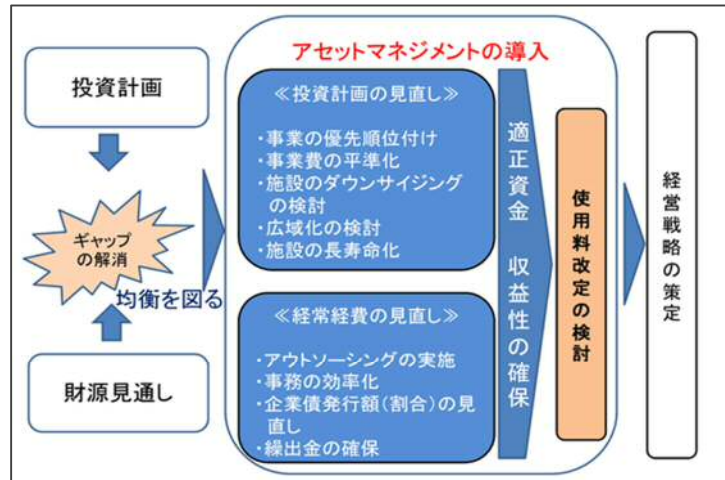
▼ 池田市上下水道事業経営戦略の趣旨

高度経済成長期の急激な人口増加に伴い整備された資産が、一斉に更新時期を迎えていくなか、節水型機器の普及、人口減少等により水需要が減少傾向となっており、安全で安定した生活基盤の提供を維持していくためには、中長期的な視点で、将来を見据えた効率的な事業運営を行っていくことが必要です。

このため、投資及び財政の見通しを基に今後の方針をまとめた基本計画「池田市上下水道事業経営戦略」を策定し、経営基盤の強化を図ります。

【池田市上下水道事業経営戦略の策定手順】

中長期的な視点で経営基盤を強化するため、アセットマネジメントの手法（資産・人材・財源の一体管理）を用いて、更新需要と財政収支見通しの結果を基に、事業の将来像について検討し、今後10年間の投資・財政計画を策定します。



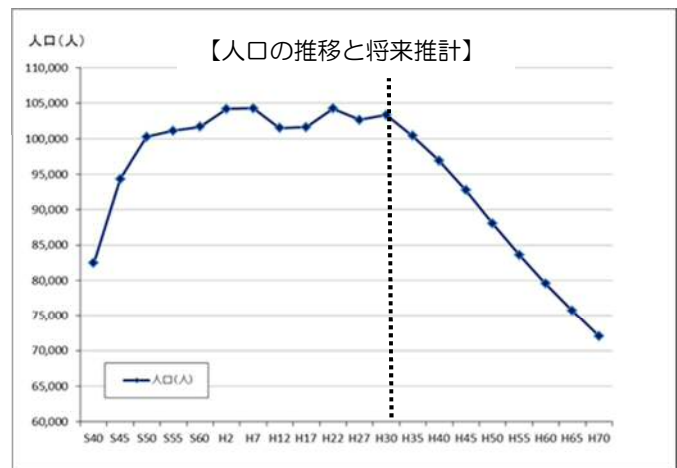
▼ 将来の事業環境

昭和40年代に投資のピークを迎えており、10年後には水道管路・下水道管渠の総延長に対する耐用年数経過延長の割合は6割を超えます。浄水施設、下水処理施設についても老朽化により更新需要が増加しています。

今後は資産の更新・耐震化の時期を迎えるなか、人口減少による収益減少が予測され、今後より厳しい事業環境を迎えることになります。

【今後必要となる投資】

更新・耐震化	・水道管路・浄水施設・送水施設 ・下水道管渠・下水処理施設
新設	・水道管路 ・下水道管渠（雨水）



▼ 経営健全化へのこれまでの取組み

- 浄水場の夜間運転監視業務の委託・料金徴収等業務の委託・福祉減免制度の廃止
- 平成26年1月、水道料金・下水道使用料の改定
(平均改定率：水道料金(メーター料を含む) 1.45%減、下水道使用料 20.5%増)

▼今後の効率化・健全化への取り組み

将来にわたって安定的に事業を継続するため、以下の取り組みを行っていきます。

取組み① ～投資～

- 中長期的な更新費用の平準化及び延命化
- 水道事業有収率 95%達成

投資においては、今後の水需要の動向に合わせて、更新需要に対する耐用年数の考え方や優先順位付けの方法を整理し、更新費用の平準化及び延命化を行います。同時に、広域化の検討、ダウンサイジングの検討も進めてまいります。

取組み② ～財源～

- 中長期的な財政運営に必要な資金の確保
- 経営戦略最終年度（平成 39 年度）における損益黒字の達成

投資における財源に加え、災害等緊急時の対応等、財政運営上必要な資金を確保するために、適切な財源構成を検討します。料金・使用料改定に至るまでに、その他の財源の最大限の確保を行います。

平準化を行った中長期的な投資計画に対し、必要な財源が確保できず、損益赤字が見込まれ、なおかつ資金不足に陥る懸念が生じた場合、料金や使用料改定の検討を行います。5年毎を目処に定期的に見直しを行い、適正な料金水準及び料金体系の実現を図ります。

取組み③ ～人材確保・民間活用等～

- 中長期的に事業を継続できる人材体制の整備

民間活用について先進事例などの研究を行い、官民の棲み分けを精査し、適切な職員の確保及び組織体制の構築に努めます。

▼ 投資・財政計画

今後の効率化・健全化への取組みを基に、10年間（平成30年度から平成39年度）の投資・財政計画を策定しています。計画期間の事業費は、水道事業127億円、下水道事業177億円で、計画最終年度の損益黒字を達成する見込みです。

▼ 経営戦略の事後検証・更新

経営戦略は、進捗管理を行い、5年毎に見直しを図ります。

池田市上下水道事業経営審議会において、学識経験者等の意見を聴取し、客観的な検証が行われるように留意します。